



協 育

東根市立第三中学校
学校だより
令和元年度 第11号
(令和2年2月12日)
発行者：校長 加藤淳一

「地域からの愛情」をたっぷり受け 「ふるさとの誇り」を感じているからこそ

～おめでとう **県最優秀賞!** 小野瑠奈さん(2年)
「社会を明るくする運動」作文コンテスト～

【題名「地域のつながりの強さ」 応募：県内366名】

瑠奈(るな)さんの作文は「地域の中で幅広い世代がつながることで、安全安心が保たれる」という内容です。そこには「地域のつながりの強さ」が「ふるさとの誇り」そのものだというメッセージが込められています。これまで、地域の方々からたくさんの愛情を受けてきたからこそ、書くことができたのだと感じました。生徒たちは、この地域の良さをしっかりと感じ取っています。抜粋した内容を掲載します。ぜひその思いに触れてください。

なぜ、犯罪や非行が起きてしまうのか。やってはいけないと分かっているのに、なぜやってしまうのか。周りの人はなぜ気づいてあげないのか。(略)

なぜ事件が起きてしまうのかと疑問に思い、考えている中で、私たち東根三中学区は犯罪や非行が少ないことに気づき、多いところと、どこが違うのかと疑問に思った。また、どうやったら少なくできるのかと考えてみた。(略)

三中の生徒数も減って、高齢者の割合が高い傾向だ。逆に考えると、生徒一人一人をしっかりと見守ってくれる方々がたくさんいるということだ。確かに、私が小学生の時は、6年間暑い日も寒い日も雨が強い日も毎日、私の祖母や地域の方々が「おはよう。」「今日も一日元気でがんばって。」など、たくさんの言葉とともに朝しっかりと見守っていてくれた。私の住む三中学区には、心が広く、優しい人がたくさんいる。いつも私たちのことを気にかけてくれる。それは、少子高齢化だからこそ、一人一人をしっかりと見守れる環境があるからだとは私は思った。変化や異変にもすぐ気づくことができるのである。(略)

そう思ったきっかけは、祖母が普段何気なく行っている野菜や果物のおすそ分け、回覧板まわしなどだ。(略)その中で、思っていること、感じていること、そして、相談事や最近の話など、気軽に話し、伝え合えることこそが大切なのではないかと思う。(略)

(次ページへ続く)

暑い中一生懸命育てた野菜や果物をあげることに、回覧板をただ入れるだけでなく、直接相手に手渡すこと。一人一人が他人を大切に思っているから、このような行動ができるのだと思う。（略）

これらを繰り返すから私たちの小さな学区だけれど、大きい地域や市にも負けない、相手を思いやる強さ、つまり地域・学区内のつながりの強さ、それが三中学区を支えているのではないかと私は思う。（略）

人数が多い地域でも相手や他人のことを思う意識があるだけで、防げる犯罪や非行はたくさんあるのではないかとと思う。そうやって、地域のつながりが強い中で育っている私たちは幸せだと思う。そして、その大切な強いつながりという伝統を、次の世代にも引き継げるようにしていかなければならない。誰かに自分の意思を伝えることで、暗い道だけでなく、明るく楽しい道がたくさんできると思う。そうやって少しでも、犯罪や非行がなくなってほしいと考えている。



令和最初の入学式に向けて、準備着々！

【1月18日 新入生説明会】

来年度入学予定の東郷小と高崎小の6年生と保護者の方々が来校して行われました。今年から、本校1年生による「学校生活紹介」のコーナーをつくりました。代表7名が授業や学校行事、部活動の様子などを紹介しました。安心して中学校生活を送ることができるように、先輩として一生懸命に伝えている姿が印象的でした。6年生はキラキラした目をして、先輩たちの説明に聞き入っていました。生徒数は多くはないけれども、いのちを精一杯輝かせられるように、何にでも頑張る三中生の姿が伝わったように思います。私たちは今後とも、生徒たちが「三中の自信と誇り」を自分の言葉で後輩たちに伝えられるようにしていきます。そして、「愛される学校」「選ばれる学校」であり続けたいと思います。



【2月6日 小学校6年生交流授業】

東郷小と高崎小の6年生が来校しました。数学では、古代ローマ時代の数え方など「数（すう）について」を学習し、考えを交流しました。体育では、東郷と高崎混合のチームで力を合わせながらシュートを決める「バスケットボール」などで交流しました。体育館にはたくさんのかげ声や笑顔があふれました。「新元号になって初の入学生」として、文字通り本校の新しい時代を築く仲間たち。中学校の雰囲気味わいながらかわり合った貴重な時間になりました。4月6日（月）の新入生オリエンテーション、7日（火）の入学式で元気に会えることを楽しみにしています。



家庭と学校が一緒になって危機管理を ～ 「ソーシャルメディア」の利用について ～

スマートフォンなどの急速な普及に伴い、中学生のインターネット利用時間は増加の一途をたどっています。便利な反面、世界中誰でも利用できるために、悪意を持つ人との接触によるリスクが問題視されています。危機管理の視点から、北村山地区校長会でも実態を把握し、指導に活かす取り組みを行っています。以下のような実態が見えてきました。

1 北村山地区中学生の現状（今年度：生徒へのアンケート調査結果による）

- (1) インターネットにつながる何らかのICT機器を所有している割合は、9割を超えている。
- (2) フィルタリングを確実にしているという割合は、3割～4割程度にとどまっている。
- (3) 会ったことがない人と情報交換をしたことがある割合は、2割程度いる。

2 問題点やトラブルなどの例

- (1) スマホ利用で「通信型ゲーム」「SNS通信」「YouTube」「その他のアプリ」などに依存し、生活リズムが崩れ、学力の低下につながっているケースが多い。
- (2) ネットモラルについては授業などで指導を行ってきたが、誹謗中傷の書き込み、画像や動画など個人情報に掲載される事案が実際に発生している。
- (3) 学校だけでは、上記のことを十分守り切ることができない。外部機関（警察）に相談するケースもみられる。
- (4) 出会い系やその他のサイトを利用し、事故や問題行動に巻き込まれるケースも見られる（登録料金の発生やゲームの課金なども含めて）。

こういったことが「三中生には絶対はない」とは言い切れません。機器の利用時間は県や市の平均を上回っているという実態もあります。生徒一人一人が適切に利用して、社会との関係性を壊すリスクを回避し、より豊かな生活と健全な成長につながるようにしていかなければなりません。私たち大人には、「子どものネット利用を見守る」責任があります。ネットや携帯電話、スマートフォンを賢く使いこなす人間に成長するよう、温かく見守り続ける責任があります。機器を与えたならば、大人側がネット社会の現状について学び、知識を高め、適切にサポート・指導できるよう努めることが必要です。

三中生の健全な成長のために、ご家庭でもう一度、以下の点を確認し、お子さんと話し合っていただければと思います。私たちも指導を継続していきます。

- ◆「青少年インターネット環境整備法」では、保護者が子どものネット利用の状況を適切に把握し、フィルタリングを確実に行うことが求められています。山形県の「青少年健全育成条例」でも義務化（保護者に責任が生じること）されています。
- ◆お子さんが友人・知人の個人情報や他者を中傷、侮辱するような内容の書き込みなどを行っていないか、見守っていく必要があります。また、他人になりすまして情報を発信していないか、自分以外の人を写った写真や情報を発信する際は、あらかじめその人に許可を得ているかなどをチェックしていく必要があります。
- ◆「わが家のルール」を決めて（繰り返し確認して）利用させていくことが大切です。

3月の予定等

1・2年生の予定（2月12日現在）です。今後、変更になる場合があります。3年生は放課後の活動状況によります。各学年からの情報でご確認ください。

日	曜	行 事 等	給食	部活	下校予定	
1	日			◆	各部ごと	
2	月	職員会議	○	なし	15:35	
3	火	自己生活アンケート	○	○	18:00	
4	水		○	なし	16:05	
5	木		○	○	18:00	
6	金		○	○	18:00	
7	土			◆	各部ごと	
8	日			◆	各部ごと	
9	月		○	○	18:00	
10	火	◎公立高校入試	○	○	18:00	
11	水		○	なし	16:05	
12	木		○	○	18:00	
13	金	3年：同窓会入会式	○	○	18:00	
14	土			◆	各部ごと	
15	日	登校日：修了式・通知表配付・卒業式準備		なし	15:45	
16	月	卒業式・門出式		なし	12:50	
17	火	振替休業日（15日分）・年度末休業 ◎公立高校合格発表		◆	各部ごと	
18	水	反省職員会議 ※東郷小・高崎小卒業式		◆	各部ごと	
19	木			◆	各部ごと	
20	金	春分の日		◆	各部ごと	
21	土			◆	各部ごと	
22	日			◆	各部ごと	
23	月			◆	各部ごと	
24	火			◆	各部ごと	
25	水	新生引継ぎ（東郷小・高崎小との連携事業）		◆	各部ごと	
26	木			◆	各部ごと	
27	金	離任式	4月の予定について（2月12日現在） 6日：新任式・始業式（午前：新2・3年） 新入生オリエンテーション（午後：新入生） 7日：入学式（午前）		◆	各部ごと
28	土				◆	各部ごと
29	日				◆	各部ごと
30	月				◆	各部ごと
31	火				◆	各部ごと

「R48 しあわせ街道まなびの森」

チェーンソーアートによる「まなびの森の熊さん」が完成

10月に行った2学年行事で削り上げていただいた作品です。十分に乾燥させ、塗料で加工したものをご寄贈いただきました。職員玄関を入った正面に「ドン」と愛らしく座っています。生徒たちは頭をなでるなどして、かわいがっています。現在、名前を募集中です。

双伸工業のみなさま、関山愛林公益会のみなさま、本当にありがとうございました。

